



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3184 URL <https://www.icda.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)服部 宝 (TEL) 059-381-5540
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	33,101	8.5	1,797	30.9	1,830	30.3	930	5.4
2023年3月期	30,496	7.2	1,372	△11.0	1,404	△10.0	883	△9.5
(注) 包括利益	2024年3月期 1,065百万円 (9.9%)		2023年3月期 969百万円 (△8.2%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	443.32	—	10.6	10.3	5.4
2023年3月期	420.75	—	11.2	9.1	4.5
(参考) 持分法投資損益	2024年3月期 —百万円		2023年3月期 —百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	19,829	9,523	46.4	4,385.06
2023年3月期	15,618	8,568	53.0	3,943.40
(参考) 自己資本	2024年3月期 9,207百万円		2023年3月期 8,280百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,136	△2,752	1,697	760
2023年3月期	3,194	△2,269	△923	678

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	104	11.9	1.3
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	104	11.3	1.2
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		10.3	

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,861	10.1	661	△16.6	670	△17.1	434	△19.0	207.12
通期	35,000	5.7	1,536	△14.5	1,550	△15.3	1,019	9.5	485.45

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	2,100,000株	2023年3月期	2,100,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	207株	2023年3月期	207株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	2,099,793株	2023年3月期	2,099,793株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	538	△0.3	170	9.8	211	12.0	190	14.4
2023年3月期	540	5.6	155	35.3	189	28.8	166	15.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	90.92	—
2023年3月期	79.47	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	6,571		3,007		45.8	1,432.33		
2023年3月期	4,856		2,908		59.9	1,385.07		

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,007百万円 2023年3月期 2,908百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループの主要エリアである三重県下において、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和されたことにより、経済活動は回復傾向となり、個人消費も回復傾向となっております。しかしながら、為替相場の影響や原材料費の高騰により製造業を中心とした経済活動の鈍化が懸念されております。

当社グループにおいては、従来より実施している既存顧客に対するフォローアップ活動の更なる強化を図ることにより、既存顧客からの受注は堅調に推移しております。また、前連結会計年度より継続している商品(車両及び部品等)の供給遅れ又は出荷停止等の影響がほぼ無くなりました。

これらの結果、売上高は331億1百万円と前年同期と比べ26億5百万円(8.5%)の増収、営業利益は17億97百万円と前年同期と比べ4億24百万円(30.9%)の増益、経常利益は18億30百万円と前年同期と比べ4億25百万円(30.3%)の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は9億30百万円と前年同期と比べ47百万円(5.4%)の増益となりました。

① 売上高及び営業利益

売上高は331億1百万円と前年同期と比べ26億5百万円(8.5%)の増収、営業利益は17億97百万円と前年同期と比べ4億24百万円(30.9%)の増益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、国産新車販売は、半導体不足等による製造ライン稼働率低下の影響による商品供給遅れは回復し、在庫車両の販売等に注力することで国産新車販売台数は前年同期比を上回ることができました。国産新車販売台数は前年同期比8.0%増の5,678台となり、輸入車新車販売においても国産新車販売とほぼ同様の結果となり、輸入車販売台数は前年同期比6.1%増の472台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比7.8%増の6,150台となりました。

中古車販売については、既存顧客からの受注が堅調に推移しております。しかし、第2四半期連結累計期間までは中古車オークション相場が、商品不足による中古車オークション相場の乱高下の影響を受けたことで、卸売(業販)が大幅に減少し、中古車販売台数は前年同期比3.6%減の9,010台となりました。

これらの結果、売上高は315億17百万円と前年同期と比べ24億8百万円(8.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は18億42百万円と前年同期と比べ4億27百万円(30.3%)の増益となりました。

(自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、生産台数(再資源化処理)は前年同期比0.0%増の9,054台(前年同期9,051台)となり、使用済自動車の入庫は、前年同期比7.2%減の8,712台となりました。売上高は、鉄及びアルミ並びに希少希土類(レアアース・レアメタル)等の資源相場下落により減少しておりますが、輸出関連売上は増加しております。また、売上原価は、中古車オークション相場の大幅な価格変動の影響が少なくなりました。

これらの結果、売上高は15億84百万円と前年同期と比べ1億97百万円(14.2%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億82百万円と前年同期と比べ2百万円(1.2%)の増益となりました。

② 経常利益

営業外損益については、営業外収益は増加し、営業外費用も増加いたしました。しかし営業利益が増加したことにより、経常利益は18億30百万円と前年同期と比べ4億25百万円(30.3%)の増益となりました。

③ 親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は、貸倒損失の計上がありました。しかし、経常利益の増加により、税金等調整前当期純利益は15億47百万円と前年同期と比べて1億52百万円(10.9%)の増益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は5億82百万円となりました。これらの結果、当連結会計年度における親会社株主に帰属する当期純利益は9億30百万円と前年同期と比べ47百万円(5.4%)の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産の部

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末より42億10百万円増加し、198億29百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加24億51百万円、建物及び構築物(純額)の増加6億86百万円、受取手形及び売掛金の増加2億46百万円、機械装置及び運搬具の増加1億52百万円、土地の増加73百万円等によるものであります。

② 負債の部

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末より32億55百万円増加し103億5百万円となりました。これは主に、借入金の増加18億14百万円、未払金の増加6億55百万円、買掛金の増加6億34百万円、前受金の増加1億33百万円等によるものであります。

③ 純資産の部

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末より9億55百万円増加し、95億23百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上9億30百万円、配当金の支払1億4百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同期と比べ81百万円増加し、7億60百万円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期と比べ20億58百万円減少し、11億36百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が15億47百万円、減価償却費8億28百万円、仕入債務の増加額6億34百万円、前受金の増加額1億33百万円等による資金の増加と、売上債権の増加額2億46百万円、棚卸資産の増加額9億38百万円、法人税等の支払額5億92百万円等による資金の減少によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、前年同期と比べ4億82百万円増加し、27億52百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出27億25百万円等であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、前年同期と比べ26億21百万円増加し、16億97百万円(前期は9億23百万円の資金の支出)となりました。これは主に、短期借入金の増加額20億10百万円等による資金の増加と、長期借入金の返済による支出1億95百万円、配当金の支払額1億5百万円等による資金の減少によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率(%)	39.7	44.5	48.9	53.0	46.4
時価ベースの自己資本比率(%)	16.9	34.0	33.3	37.6	28.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.0	1.1	1.3	0.5	2.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	64.6	112.0	94.3	240.9	85.6

※ 各指標の算出方法は次のとおりであります。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
 - ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
 - ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
 - ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い
1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 3. キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
 4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

自動車販売関連事業においては、経済活動は緩やかながら回復基調であることと、既存顧客に対するフォロー活動を強化することで、一定の車両販売の受注は確保できるものと考えております。また、車検・点検等の修理売上部門においても堅調に推移しております。新車販売においては、車両在庫等の大幅な変動は想定されておりませんが、中古車オークション相場の急激な変動等が懸念材料として考えられます。また、伊勢地区への新規出店費用等を見込んでおります。これらにより、国産新車販売台数は5,800台(当期比2.1%増)、輸入新車販売台数は500台(当期比5.9%増)の合計6,300台(当期比2.4%増)、中古車販売台数は10,000台(当期比11.0%増)を計画しております。

自動車リサイクル事業では、海外取引については回復傾向にあるものの、鉄及びアルミ並びに希少希土類(レアアース・レアメタル)等の資源相場が今後上昇する見込みが低いいため、国内・海外向けのリユースパーツ販売等の更なる強化が必要となります。これらにより、生産台数9,500台(当期比4.9%増)を計画しております。

以上の見通しにより、通期連結業績予想として、売上高は350億円(前年同期比5.7%増)、営業利益は15億36百万円(前年同期比14.5%減)、経常利益は、15億50百万円(前年同期比15.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億19百万円(前年同期比9.5%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業展開をしていることから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(I F R S)の適用につきましては、今後の事業展開や国内同業他社の動向を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	758,873	840,808
受取手形及び売掛金	498,015	744,662
商品及び製品	3,384,094	5,835,726
仕掛品	7,277	3,256
原材料及び貯蔵品	88,151	76,556
その他	209,653	508,115
貸倒引当金	△203	△399
流動資産合計	4,945,862	8,008,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,862,628	7,732,107
減価償却累計額	△4,471,142	△4,654,490
建物及び構築物（純額）	2,391,485	3,077,617
機械装置及び運搬具	2,395,503	2,571,882
減価償却累計額	△1,102,045	△1,126,217
機械装置及び運搬具（純額）	1,293,458	1,445,665
土地	5,796,139	5,869,373
その他	605,950	650,483
減価償却累計額	△529,062	△556,906
その他（純額）	76,888	93,576
有形固定資産合計	9,557,971	10,486,232
無形固定資産	37,758	35,443
投資その他の資産		
投資有価証券	297,846	470,402
繰延税金資産	460,724	505,936
その他	318,653	322,421
投資その他の資産合計	1,077,224	1,298,760
固定資産合計	10,672,955	11,820,436
資産合計	15,618,817	19,829,164

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,794,507	2,428,655
短期借入金	1,300,000	3,310,000
1年内返済予定の長期借入金	195,120	—
未払金	396,858	1,052,598
未払法人税等	269,088	340,643
前受金	1,575,975	1,709,321
賞与引当金	161,034	164,553
その他	238,420	143,213
流動負債合計	5,931,004	9,148,985
固定負債		
役員退職慰労引当金	323,888	331,024
退職給付に係る負債	729,593	763,545
資産除去債務	46,332	47,242
その他	19,549	14,724
固定負債合計	1,119,364	1,156,537
負債合計	7,050,369	10,305,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	5,882,432	6,708,332
自己株式	△378	△378
株主資本合計	8,192,124	9,018,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,732	139,727
退職給付に係る調整累計額	60,471	49,974
その他の包括利益累計額合計	88,204	189,701
非支配株主持分	288,118	315,915
純資産合計	8,568,448	9,523,641
負債純資産合計	15,618,817	19,829,164

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	30,496,316	33,101,903
売上原価	24,631,075	26,628,436
売上総利益	5,865,240	6,473,466
販売費及び一般管理費	4,492,416	4,675,825
営業利益	1,372,824	1,797,641
営業外収益		
受取利息	157	87
受取配当金	9,913	11,968
受取賃貸料	11,610	11,766
受取保険金	30,248	17,984
受取負担金	—	10,780
その他	6,502	7,702
営業外収益合計	58,432	60,290
営業外費用		
支払利息	13,195	17,515
支払手数料	7,893	7,198
固定資産除却損	3,022	657
その他	2,803	2,543
営業外費用合計	26,915	27,914
経常利益	1,404,341	1,830,016
特別損失		
貸倒損失	—	282,560
固定資産除却損	9,330	—
特別損失合計	9,330	282,560
税金等調整前当期純利益	1,395,011	1,547,455
法人税、住民税及び事業税	524,931	666,178
法人税等調整額	△46,789	△83,683
法人税等合計	478,141	582,494
当期純利益	916,869	964,960
非支配株主に帰属する当期純利益	33,368	34,071
親会社株主に帰属する当期純利益	883,501	930,889

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	916,869	964,960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,744	111,994
退職給付に係る調整額	39,081	△11,081
その他の包括利益合計	52,825	100,912
包括利益	969,694	1,065,873
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	937,490	1,032,386
非支配株主に係る包括利益	32,203	33,486

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,161,078	1,148,992	5,103,921	△378	7,413,613	13,988	25,034	39,022	256,796	7,709,432
当期変動額										
剰余金の配当			△104,989		△104,989					△104,989
親会社株主に帰属する 当期純利益			883,501		883,501					883,501
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						13,744	35,437	49,181	31,322	80,503
当期変動額合計	—	—	778,511	—	778,511	13,744	35,437	49,181	31,322	859,015
当期末残高	1,161,078	1,148,992	5,882,432	△378	8,192,124	27,732	60,471	88,204	288,118	8,568,448

当連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,161,078	1,148,992	5,882,432	△378	8,192,124	27,732	60,471	88,204	288,118	8,568,448
当期変動額										
剰余金の配当			△104,989		△104,989					△104,989
親会社株主に帰属する 当期純利益			930,889		930,889					930,889
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						111,994	△10,497	101,497	27,796	129,294
当期変動額合計	—	—	825,899	—	825,899	111,994	△10,497	101,497	27,796	955,193
当期末残高	1,161,078	1,148,992	6,708,332	△378	9,018,024	139,727	49,974	189,701	315,915	9,523,641

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,395,011	1,547,455
減価償却費	808,555	828,354
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,109	3,518
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,915	7,135
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	27,490	18,075
受取利息及び受取配当金	△10,071	△12,056
支払利息	13,195	17,515
固定資産除却損	9,330	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△76,641	△246,647
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,235,123	△938,527
仕入債務の増減額 (△は減少)	92,176	634,147
前受金の増減額 (△は減少)	93,679	133,346
その他	172,032	△258,715
小計	3,775,906	1,733,603
利息及び配当金の受取額	10,071	12,056
利息の支払額	△13,264	△17,577
法人税等の支払額	△577,714	△592,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,194,999	1,136,047
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△80,031	△80,032
定期預金の払戻による収入	100,031	80,031
有形固定資産の取得による支出	△2,318,835	△2,725,837
投資有価証券の取得による支出	△16,569	△17,295
その他	46,168	△8,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,269,236	△2,752,013
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△600,000	2,010,000
長期借入金の返済による支出	△205,980	△195,120
配当金の支払額	△104,916	△105,080
非支配株主への配当金の支払額	△5,690	△5,690
その他	△6,512	△6,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△923,098	1,697,901
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,664	81,934
現金及び現金同等物の期首残高	676,177	678,841
現金及び現金同等物の期末残高	678,841	760,776

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(当社元役員による不正行為について)

2024年2月1日付「当社元役員による不正行為発覚に伴う特別調査委員会設置並びに2024年3月期第3四半期決算発表の延期及び当該四半期報告書の提出期限の延長申請の検討に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、2023年11月から実施された当社子会社の株式会社ホンダ四輪販売三重北及び株式会社オートモールに対する税務調査及び社内調査の結果、当社元役員が2016年4月から2023年10月までの期間において、中古車の買取取引等を利用した金銭の着服を行っていたことが判明いたしました。

当社元役員による金銭の着服額282,560千円については当該元役員に対する損害賠償請求権と認識しておりますが、その全額が回収不能であると判断していることから、貸倒損失として計上しております。また、当該着服額のうち過年度分については、売上原価、修繕費及び減価償却費を過大計上していたものであることから、当該部分につき売上原価136,300千円、販売費及び一般管理費69,206千円を減額修正いたしました。さらに、法人税等の修正申告に伴う追徴税額等100,028千円を法人税等を含めて計上しております。

なお、本件不正行為による過年度の連結財務諸表に与える影響は軽微であると判断したことから、過年度の連結財務諸表等の訂正は行わず、当連結会計年度において一括処理することといたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、純粋持株会社体制のもと、各事業会社によって、その取り扱う商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車販売関連事業」及び「自動車リサイクル事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「自動車販売関連事業」は、各メーカーの正規ディーラーとして新車・輸入車の販売を行う新車部門、中古車の販売・買取を行う中古車部門、自動車の車検・点検整備等を行うサービス部門などの事業を行っております。なお、当事業に㈱ホンダ四輪販売三重北及び㈱オートモールが該当いたします。

「自動車リサイクル事業」は、自動車リサイクル法に基づいた使用済自動車の解体及びリサイクル資源の販売、リユースパーツの国内外への販売を行っております。なお、当事業に㈱マーク・コーポレーションが該当いたします。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,109,488	1,386,827	30,496,316	—	30,496,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	84,626	47,672	132,299	△132,299	—
計	29,194,115	1,434,500	30,628,615	△132,299	30,496,316
セグメント利益	1,414,311	180,295	1,594,606	△221,782	1,372,824
セグメント資産	13,485,109	1,271,190	14,756,300	862,516	15,618,817
セグメント負債	6,761,255	168,097	6,929,353	121,016	7,050,369
その他の項目					
減価償却費	779,091	22,330	801,421	7,133	808,555
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,337,520	36,843	2,374,364	—	2,374,364

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△221,782千円には、セグメント間取引消去△4,825千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△216,956千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額862,516千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない土地であります。
 - (3) セグメント負債の調整額121,016千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない役員退職慰労引当金であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,517,880	1,584,022	33,101,903	—	33,101,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59,703	51,509	111,213	△111,213	—
計	31,577,583	1,635,532	33,213,116	△111,213	33,101,903
セグメント利益	1,842,208	182,383	2,024,592	△226,950	1,797,641
セグメント資産	17,544,543	1,361,535	18,906,078	923,085	19,829,164
セグメント負債	9,965,319	208,216	10,173,535	131,987	10,305,522
その他の項目					
減価償却費	801,958	21,646	823,605	4,749	828,354
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,237,980	4,587	3,242,568	2,749	3,245,318

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△226,950千円には、セグメント間取引消去991千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△227,942千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額923,085千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない土地であります。
 - (3) セグメント負債の調整額131,987千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない役員退職慰労引当金であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	3,943.40円	4,385.06円
1株当たり当期純利益	420.75円	443.32円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当連結会計年度末 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	8,568,448	9,523,641
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	288,118	315,915
(うち非支配株主持分(千円))	(288,118)	(315,915)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,280,329	9,207,726
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,099,793	2,099,793

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	883,501	930,889
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	883,501	930,889
普通株式の期中平均株式数(株)	2,099,793	2,099,793

(重要な後発事象)

該当事項はありません。